

学校教育目標 「心豊かな中学生」「自ら学ぶ中学生」「活力あふれる中学生」



常盤のみどり

第467号 令和4年 8月26日(金)

さいたま市立常盤中学校

〒330-0075

さいたま市浦和区針ヶ谷4-1-9

TEL 048-831-3189

FAX 048-830-1561

E-mail:tokiwa-j@saitama-city.ed.jp



プランターに植えられたペンタス。星の形をした花びらから、星に願いをかける思いが花言葉になりました。「希望が叶う」「願い事」。

SINCE 1947



用意(して)、ドン!

校長 渡邊 祐子

連日の体温を超える暑さの異常気象と言われた夏が終わり(?)、いよいよ二学期が始まりました。毎日天気予報とにらめっこし、如何に涼しく過ごすか、服装や行動を考えていた休暇も終わりです。気持ちを切り替え、処暑の日々と向かい合っていきます。

そういえば、天気予報ではありませんが、新聞に載っている毎日の運勢を欠かさず読み、その占いを気にして暮らす先輩がいました。その方は「今日のラッキーカラーは白だから、給食のご飯をお替りしよう」とか、「今日は慌てるとうよくないらしいから、生徒の話は落ち着いて聞くことにする」などと、占いを道標として生活しているように見えました。

私も占いは好きで、誕生日、星座、血液型、動物、手相、風水などと幾つもの種類に触れ、その都度じっくり読むなどしてきました。でも、その先輩のように書かれた言葉を全て信じているわけではなく、自分にとって都合のよい情報は「その通り」と受け入れ、当てはまらない情報は「まあ、いろいろあるし…」と気にしない、そんな勝手な解釈で過ごしてきました。

そもそも占いとは統計学の一種で、属性に対し類似した傾向を示すものと言われています。そこに、個々の置かれた条件や環境が加わり、運勢や未来についての予測がされるものです。

TVを見ていたら、占いとは結果を知って終わりにするのではなく、結果を今後に生かすために役立てるものと話していました。気分に応じて向き合ってきた私には、小さな気づきを与えてくれるひとことが生かせず、見えない先への準備が足りなかったと反省しました。

2学期は、9月早々から修学旅行や未来(みら)くるワーク、校外学習と、心待ちにしていた行事が目白押しです。子どもたちは一学期からの取組を生かし、しっかりと心も、身体も、持ち物も準備を整えて臨んでくれることでしょう。

加えて、コロナウィルス第7波の状況や、天気予報・運勢など、未来をよりよくするための情報を、転ばぬ先の杖としてしっかりと受け止め、それぞれの行動パターンに応じた備えを進めていきたいと思えます。きっと、小さな事を気にしない私の大雑把な(おおらか、とも言います!) O型の性格も、旅先では細心の注意を払えるようになっていくと信じて…。